

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38437
事業名	市営霊園運営改善費					
評価担当課	所属名	保)保健所 生活環境課				
	課長名	小山内康徳	担当者名	小野寺康介	電話番号	616-2855
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	少子高齢化、家族構成の変化、葬送の多様化等、社会環境の変化による墓需要、墓地形式のニーズや無縁遺骨への対応、老朽化している市営霊園の再整備等、複雑・多様化する課題を解決する。			
		長期	「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」に基づき、「(仮称)墓地運営基本計画」を策定することで、社会環境の変化を踏まえた適正な墓地運営体制を整え、市民が不安なく葬送を送るための社会を推進することができる。			
	取組内容	社会環境の変化に対応した持続可能な墓地行政を実現するための墓地運営計画を策定し、墓地の安定運営に必要な体制整備を進める。 ①官民の役割を踏まえ協働により市民ニーズに対応する ②市営霊園の無縁化対策を進める ③安全で利用しやすい市営霊園へ改善する ④市営霊園と旧設墓地の仕様に係る費用負担のあり方を見直す				
実施結果	基本構想に基づく第1次計画として、令和8年3月までを対象期間とした「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」(以下「運営計画」)を令和4年3月に策定した。 また、市営霊園の無縁墓解消の取組については、無縁墓が疑われる墓地使用者に関する戸籍調査の実施のほか、対象の墓域に連絡を促す看板等の設置等に着手した。					
事業実施における工夫点	墓地を取り巻く様々な課題について「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」の有識者から意見をいただきながら検討を進め、運営計画の取組としてまとめた。					
対象者	札幌市民、市営霊園及び墓地の所有者、墓地・納骨堂の経営者	開始	令和2年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、墓地・埋葬等に関する法律施行規則、札幌市墓地・埋葬等に関する法律施行細則、札幌市墓地条例、札幌市墓地条例施行規則					
他都市の状況	市営霊園の運営・整備の検討や無縁化対策については、計画・実行している事例はあるが、管理料制度の見直しについては、政令市のほとんどが単年度徴収を実施している中、本市は一定期間分の手数料を使用許可時のみ徴収している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	9,648	11,000	6,721	10,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.1	1.1	1.1	1.2	
人件費	7,920	7,920	7,920	8,640	
計(事業費+人件費)	17,568	18,920	14,641	18,640	
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 6,721千円 <内訳> 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会関係費:631千円 無縁化対策関係費(看板製作、戸籍調査補助業務):3,602千円 墓地に関する運営計画策定関係費:2,488千円			
	令和4年度予算	予算額 10,000千円 <内訳> 札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会関係費:496千円 無縁化対策関係費(看板製作・設置、戸籍調査補助業務):6,474千円 新合同納骨塚設置関係費:3,030千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	(仮称)墓地運営基本計画の策定		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		計画策定	計画策定	計画取組の推進
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	無縁墓及び無縁化疑い墓の割合		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		21%	21%	19%
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度も引き続き「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」にて協議を重ね、令和4年3月に、令和4年度から令和7年度を計画期間とする「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」を策定した。また、取組内容②無縁化対策では、無縁化疑いのある墓地使用者に対する戸籍調査に取組んだ。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	運営計画は目標どおり令和4年3月に策定した。また、無縁化疑いのある墓地使用者の戸籍調査の過程における一部の事務を業務委託により実施することで、経常業務とのバランスは図った。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	市営霊園が抱えるさまざまな課題について「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」の有識者と協議・意見交換をしながら、今後4年間に取り組むべき方向性をまとめたことから、実施方法として適切であったと考える。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市営霊園が抱えるさまざまな課題のほか、墓地利用者へのアンケート結果なども「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」での議題・検討内容として、今後の市営霊園の目指す姿と施策の方向性に取り入れた。		
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	市営霊園の無縁化対策について、4年程度の年数をかけて計画・実行している政令指定都市があるが、札幌市は初めての無縁化対策となることから他政令指定都市の取組を参考にしながら、無縁改葬手順は慎重に検討していく。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし	見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	令和4年度から令和7年度を計画期間とする「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」を策定するとともに、無縁化疑いのある墓地使用者の戸籍調査の実施や看板等の設置に着手するなど、無縁墓解消の取組を進めることができたため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 無縁化対策について、戸籍調査や看板設置の取組を継続するとともに、これらの状況を墓園管理システムに記録できるようにするためのシステム改修を行う。また、行旅死亡人等のための合同納骨塚について、現施設の収蔵体数の受入可能数が迫っていることから、新增設に向けた準備を進めていく。		
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他		見直し効果額
	引き続き、課題解決に向けた検討・取組を進めるための予算を確保していく。			